

## 第2回 島根県国民健康保険運営協議会（議事録概要）

日時：平成29年8月17日（木）

13：30～15：30

場所：県庁6F 講堂

### ■議事（1）島根県国民健康保険運営方針素案について

- ▶ 事務局より説明
- ▶ 内容について承認

（主な意見等）

- ・「各市町村の医療費水準を反映する」とはどういうことなのか。
- ・「医療費水準」と「医療水準」の違いは何か。
- ・「医療費指数」とはどのような意味か。
- ・医療水準、医療提供体制は医療費水準にどう影響しているのか。例えば、医療提供体制は各市町村の責めに帰すべきものかどうかについては、非常にあいまいなところがある。その上で、医療費水準をすべて保険料に反映するという点についてどう考えたらよいか。
- ・これまで、各市町村では法定外一般会計繰入が行われてきている。都道府県化後においては繰入の削減、回数制限等、赤字の解消に向けた対策を本気で考えていく必要がある。全国的にみると、島根県の場合は一般会計繰入は47都道府県の中でも下から2番目くらいで非常に低い。ただ、繰入によって安易に保険料を引き下げることが間違っても無いようにしていかなければならないと思っている。というのも、被用者保険者としては毎年国保に前期高齢者の支援金という形で拠出をしているが、これは当然健保加入者から出している。一方で一般会計からの繰入についても、税金を払っているということになるので、被用者保険の加入者の立場から言えば保険料で払って、支援金で払う、繰入金からも持っていくわけでダブルで払っているという状況になっている。被用者保険者の立場としては繰入れ金については解消すべきではないかと考えている。具体的に今後繰入れの解消に向けた手立て、目途について聞きたい。
- ・収納不足には県財政安定化基金を活用すると考えていたが、各市町村の繰入も可能なのか。国保改革の趣旨からいえば、財政安定化基金を活用するのが筋ではないか。そうでなければいつまでたっても各市町村の繰入が存在することになるのではないか。保険料率の一本化に向けて県でもある程度方向性を示すべきではないか。
- ・最終的には医療費の適正化が重要になってくる。各市町村はもちろん、広域化後には県もいっしょになって取り組む必要がある。そして住民も医療機関も適正化に取り組む必要がある。
- ・なぜ医療費が高いのか、そのファクターはたくさんあると思う。そのファクターをどういうかたちで今後評価していきながら、各市町村は自分の地域をきっちり知ることが大事。そのうえで、県レベルでの話となると思う。だから各市町村はこの課題を大きく捉えることが必要。
- ・子供の時から成人病予防対策をしていくんだというふうな目先の取組じゃなくて、その子供たちが10年、20年先に大人になった時に成果が出るような地道な活動、そういうふうな活動を保健所や医療機関が連携を取りながら地域ぐるみでやっていくことが重要。
- ・島根県は医療費指数が高いということは、全国平均より高い良い医療を受けていると理解してよ

いか。

- ・過去5年間の医療費、入院、入院外、歯科を見てみると、入院及び入院外は増えているが、歯科については横ばいとなっている。これは診療所において常に予防的な活動をしている成果ではないかと思っている。
- ・比較的小さい地域での医療体制の差は存在しており、各種取り組みについてもそのような単位で細かく対応していく必要があるのではないかと思う。県全体の単位で方針を出して、それを踏まえたうえで小さい単位での取り組みを丁寧に検討していく必要がある。
- ・精神疾患に関する医療費が高いという課題について、なかなか解決策がない。
- ・保険者努力支援制度の活用が重要となってくる。
- ・いろんな精神のケアが必要な子供が増えているが、長い年月をかけて治療をしていく必要がある。またそういった子供たちを救うためには、地域の医療機関や保護者など、全体的な連携体制が重要となってくる。さらに専門医が少ないという課題もある。医療費の適正化が必要な中で、いろいろ課題は大きいと感じている。
- ・健康寿命ということからしても、何か目標をもって取り組むことが重要。健康をどうして保つかということを経験の皆さんとも一緒に考えていかなきゃいけないなということを感じた。
- ・医療費の分析をしっかりと欲しい
- ・地域課題の見える化が必要ではないか
- ・他都道府県の取り組みを参考としてほしい
- ・基本的な方向性として、保険料を増やさないことが重要。そして保険料を安くするためには、予防と医療費の適正化、これに尽きると思う。今回の広域化により、特に小さい町村だけではなかなか取り組めなかったことも全体からの支援が期待できるようになる。そして具体的に進めていくにあたっては、各市町村ごとにどのような課題があるのかを明らかにしていく必要があり、そうすると各市町村でも真剣に取り組んでいってもらえると思う。
- ・医療費適正化の取組で重要なのが重症化予防、その中でも糖尿病重症化予防が大切だと思う。松江圏域の取り組みを例に出させてもらおうと、県、松江市、医師会、専門医の先生等、様々な職種の方々が一体となって取り組まれており、また非常に雰囲気が良いと聞いている。このような取り組みを全県に広げていくことが必要。さらに、埼玉県のような取り組みも参考としたらよいと思う。今後は是非、都道府県化を良い方向にもって行って欲しい。

## ■議事（2）その他

- ・特になし